

## 事業評価（案）

評価時点：事前評価

計画名称：社会資本総合整備計画事業

- ・さいたま市における浸水被害の軽減を図る治水  
対策の推進＜第3期＞（防災・安全）

《建設局土木部河川課》

公共事業評価調書《事前評価・社会資本総合整備計画事業》

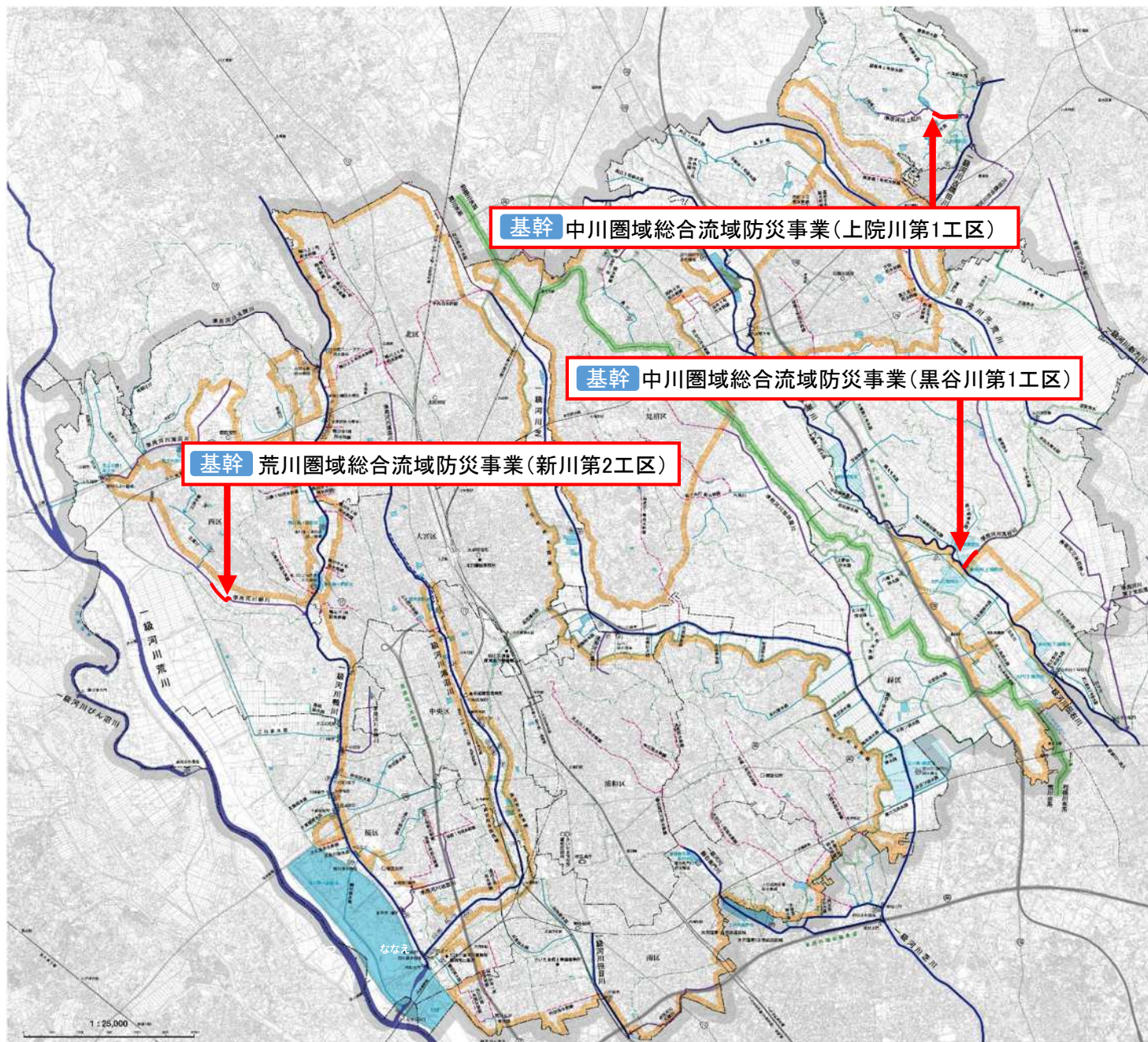
( 1 ) 概要									
計画(事業)の名称		さいたま市における浸水被害の軽減を図る治水対策の推進＜第 3 期＞（防災・安全）							
計画(事業)の期間		令和8年度～令和12年度（5年間）							
計画の目標		さいたま市内は、市街地の進展や開発に伴う雨水流出量の増大、農地の減少に伴う保水・遊水機能の低下により、河川への直接流出量が増加しており、流下能力が不足する区間を中心に浸水被害が発生している。このことから、時間雨量30mm程度の降雨による洪水を安全に流下させるための治水施設を整備し、浸水被害の軽減を図ることにより、市民の安心・安全な生活を確保する。							
計画の成果目標 (定量的指標)		準用河川において、30mm/h規模の降雨による洪水に対し、浸水被害の恐れのある家屋を289戸（R8当初）から258戸（R12末）に削減する。							
		準用河川において、30mm/h規模の降雨による洪水に対し、浸水被害の恐れのある区域面積を53.9ha（R8当初）から46.8ha（R12末）に削減する。							
定量的指標 の定義及び 算定式			定量的指標の現況値及び目標値						
			当初現況値		中間目標値		最終目標値		
			令和 8 年度当初		令和10年度末		令和12年度末		
	指標①	想定浸水家屋数の減少率（％）	289戸 (15.6%)		272戸 (20.8%)		258戸 (24.6%)		
	指標②	想定浸水面積（ha）の減少率（％）	53.9ha (24.2%)		50.5ha (29.0%)		46.8ha (34.2%)		
	指標③								
全体事業費		合計(A+B+C)	2,129（百万円）	A	2,129（百万円）	B	（百万円）	C	（百万円）

(様式 1)

(2) 交付対象事業の詳細											
A 3事業 (基幹事業)											
番号	要素となる事業名 (事業箇所)	事業種別	事業内容 (延長・面積等)	費用便益費 B/C	事業実施年度					全体事業費 (百万円)	備考
					R8	R9	R10	R11	R12		
1	荒川圏域総合流域防災事業(新川)	河川	河道掘削、橋梁工事等	1.31	■	■	■	■	■	879	継続事業
2	中川圏域総合流域防災事業(上院川)	河川	用地取得、地盤改良等	1.35	■	■	■	■	■	598	継続事業
3	中川圏域総合流域防災事業(黒谷川)	河川	河道掘削、橋梁工事等	1.46	■	■	■	■	■	652	継続事業
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
合計 (3事業)										2,129	
B 関連社会資本整備事業											
1											
2											
3											
合計 (〇〇〇〇事業)											
C 効果促進事業											
1											
2											
3											
合計 (〇〇〇〇事業)											

担当部局	建設局 土木部 河川課 TEL : 8 2 9 - 1 5 8 5 FAX : 8 2 9 - 1 9 8 8 E-mail : kasen@city.saitama.lg.jp
------	--

# 参考図面



# 社会資本総合整備計画

さいたま市における浸水被害の軽減を図る治水対策の推進  
＜第3期＞（防災・安全）

令和7年11月7日

建設局 土木部 河川課

# 1. 防災・安全交付金

1

## ■ 計画の名称

「さいたま市における浸水被害の軽減を図る治水対策の推進」＜第3期＞（防災・安全）

## ■ 計画の目標

時間雨量30mm程度の降雨による洪水を安全に流下させるための治水施設を整備し、浸水被害の軽減を図ることにより、市民の安心・安全な生活を確保する。

## ■ 計画の期間

令和8年度～令和12年度（5年間）

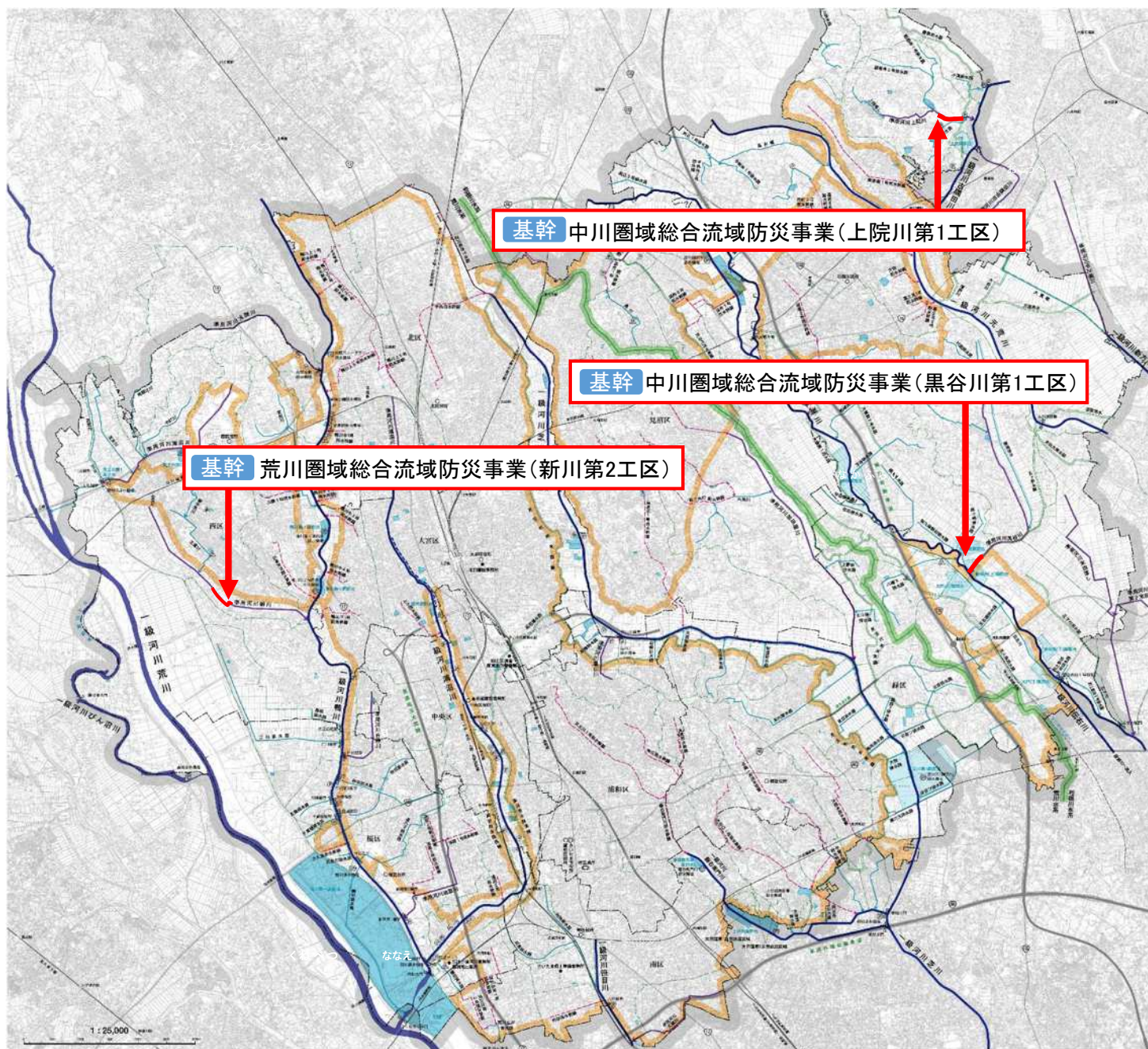
## ■ 要素となる事業

事業名(事業箇所)	種別	事業内容	全体事業費 (百万円)	実施期間(年度)					備考
				R8	R9	R10	R11	R12	
1 荒川圏域総合流域防災事業 <sup>しん</sup> (新川第2工区)	基幹	河道掘削, 橋梁工事等	879	■	■	■	■	■	継続事業
2 中川圏域総合流域防災事業 <sup>じょういん</sup> (上院川第1工区)	基幹	用地取得, 地盤改良等	598	■	■	■	■	■	継続事業
3 中川圏域総合流域防災事業 <sup>くろや</sup> (黒谷川第1工区)	基幹	河道掘削, 橋梁工事等	652	■	■	■	■	■	継続事業



## 2. 対象事業箇所

2



# 3. 定量的指標の設定

3

## ■ 定量的指標の算定

改修前

	浸水戸数 (戸)	氾濫面積 (ha)	工事延長・規模 (m)	総延長・規模 (m)
新川	121	39.4	0	3,750
上院川	91	18.5	0	1,830
黒谷川	131	13.3	0	3,890
合計	343	71.2	-	-

R8当初

	浸水戸数 (戸)	氾濫面積 (ha)	工事延長・規模 (m)	総延長・規模 (m)
新川	① 68	② 22.2	1,640	3,750
上院川	91	18.5	0	1,830
黒谷川	130	13.3	37	3,890
合計	289	53.9	-	-
減少率	③ 15.6	④ 24.2	-	-

R10末

	浸水戸数 (戸)	氾濫面積 (ha)	工事延長・規模 (m)	総延長・規模 (m)
新川	59	19.2	1,920	3,750
上院川	91	18.5	0	1,830
黒谷川	122	12.8	497	3,890
合計	272	50.5	-	-
減少率	20.8	29.0	-	-

R12末

	浸水戸数 (戸)	氾濫面積 (ha)	工事延長・規模 (m)	総延長・規模 (m)
新川	48	15.7	2,260	3,750
上院川	91	18.5	0	1,830
黒谷川	119	12.7	620	3,890
合計	258	46.8	-	-
減少率	24.6	34.2	-	-

改修後

	浸水戸数 (戸)	氾濫面積 (ha)	工事延長・規模 (m)	総延長・規模 (m)
新川	0	0.0	3,750	3,750
上院川	0	0.0	1,830	1,830
黒谷川	57	9.5	3,890	3,890
合計	57	9.5	-	-
減少率	83.3	86.6	-	-

### ①算定例(浸水家屋数)

$$\left\{1 - \frac{1640m(R8当初時点工事延長)}{3750m(改修後工事延長)}\right\} \times 121戸(改修後に解消される浸水家屋数) \\ \approx 68戸$$

### ②算定例(浸水面積)

$$\left\{1 - \frac{1640m(R8当初時点工事延長)}{3750m(改修後工事延長)}\right\} \times 39.4ha(改修後に解消される浸水面積) \\ \approx 22.2ha$$

### ③算定例(浸水家屋数・減少率)

$$\left\{1 - \frac{289戸(R8当初時点浸水戸数)}{343戸(改修前浸水戸数)}\right\} \times 100\% \approx 15.6\%$$

### ④算定例(浸水面積・減少率)

$$\left\{1 - \frac{53.9ha(R8当初時点浸水面積)}{71.2ha(改修前浸水面積)}\right\} \times 100\% \approx 24.2\%$$



### 3. 定量的指標の設定

4

#### ■ 定量的指標について

##### 指標① 想定浸水家屋数(戸)の減少率(%)

$$\left\{ 1 - \frac{\text{改修後の想定浸水家屋数(戸)}}{\text{改修前の想定浸水家屋数(戸)}} \right\} \times 100(\%)$$

◆条件

- ・計画規模(W=1/1年、時間降雨強度30mm/hr)として、氾濫解析により改修前・改修後の想定浸水家屋数を推定
- ・現況値、中間値、最終目標値は、改修前及び改修後の推定結果から改修延長見合いで想定浸水家屋数を算定

##### 目標値

	現況値(R8当初)	中間値(R10末)	最終目標値(R12末)
減少率	15.6%	20.8%	24.6%
浸水家屋数	289戸	272戸	258戸

##### 指標② 想定浸水面積(ha)の減少率(%)

$$\left\{ 1 - \frac{\text{改修後の想定浸水面積(ha)}}{\text{改修前の想定浸水面積(ha)}} \right\} \times 100(\%)$$

◆条件

- ・計画規模(W=1/1年、時間降雨強度30mm/hr)として、氾濫解析により改修前・改修後の想定浸水面積を推定
- ・現況値、中間値、最終目標値は、改修前及び改修後の推定結果から改修延長見合いで想定浸水面積を算定

##### 目標値

	現況値(R8当初)	中間値(R10末)	最終目標値(R12末)
減少率	24.2%	29.0%	34.2%
浸水面積	53.9ha	50.5ha	46.8ha

# 4. 各事業概要

5

## ■ 各要素事業の概要

【要素事業名】 荒川圏域総合流域防災事業(新川第2工区)

### 【詳細位置図】



### 【整備前後】

整備前



整備後



※第2期整備完了箇所

### 【事業実施期間】

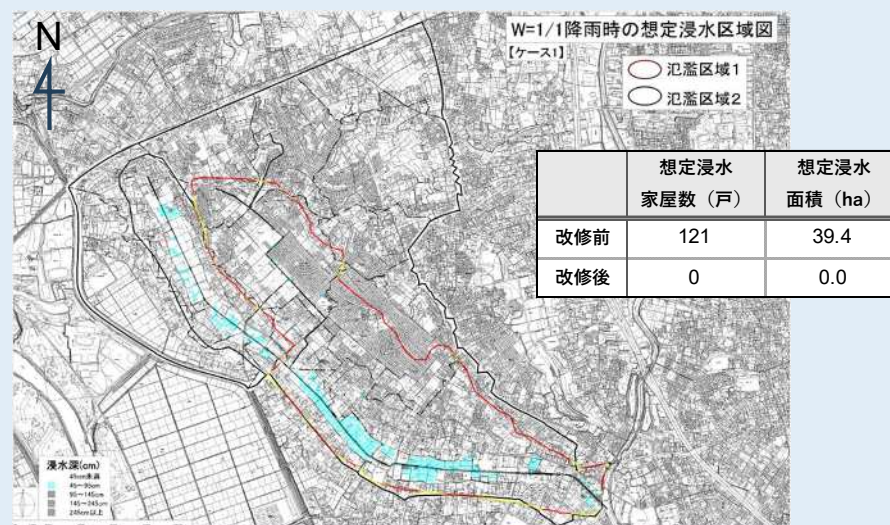
年度	R8	R9	R10	R11	R12
H3着手	■	■	■	■	■

【事業内容】 河道掘削、橋梁工事等

【全体事業費】 879百万円(交付対象事業費)

【事業進捗】 事業進捗率:43.7%(令和8年3月末見込)  
※整備済延長1,640m/指定延長3,750m

### 【改修前の氾濫解析結果】



【事業の費用対効果(B/C)】 ※準用河川新川事業再評価資料作成業務(H23.3)

総便益B (億円)	総費用C (億円)	費用便益比 B/C
153.83	117.75	1.31

※準用河川新川事業再評価資料作成業務(H23.3)



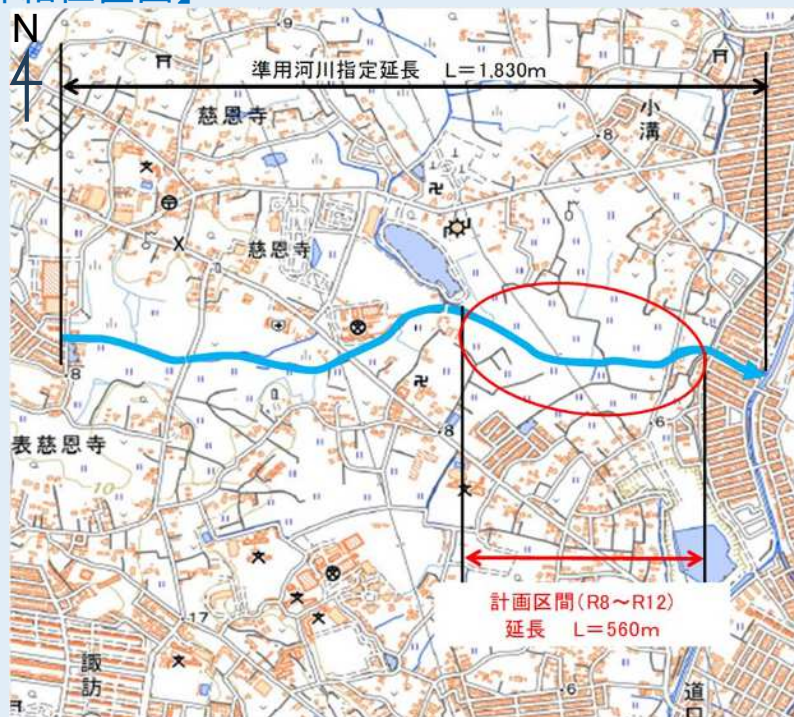
# 4. 各事業概要

6

## ■ 各要素事業の概要

【要素事業名】 中川圏域総合流域防災事業(上院川第1工区)

### 【詳細位置図】

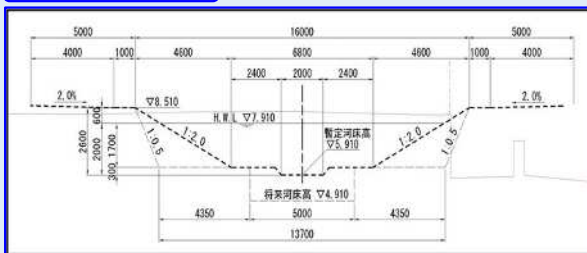


### 【整備前後】

整備前



整備後(標準断面)



## 【事業実施期間】

年度	R8	R9	R10	R11	R12
H28着手	■	■	■	■	■

【事業内容】 用地取得、地盤改良等

【全体事業費】 598百万円(交付対象事業費)

【事業進捗】 事業進捗率:0.0%(令和8年3月末見込)  
※整備済延長0m/指定延長1,830m

## 【改修前の氾濫解析結果】



総便益B (億円)	総費用C (億円)	費用便益比 B/C
50.7	37.5	1.35

※準用河川上院川治水経済調査業務(H25.3)



# 4. 各事業概要

7

## ■各要素事業の概要

【要素事業名】 中川圏域総合流域防災事業(黒谷川第1工区)

### 【詳細位置図】



### 【整備前後】

整備前



整備後



※第2期整備完了箇所

## 【事業実施期間】

年度	R8	R9	R10	R11	R12
R3着手	■	■	■	■	■

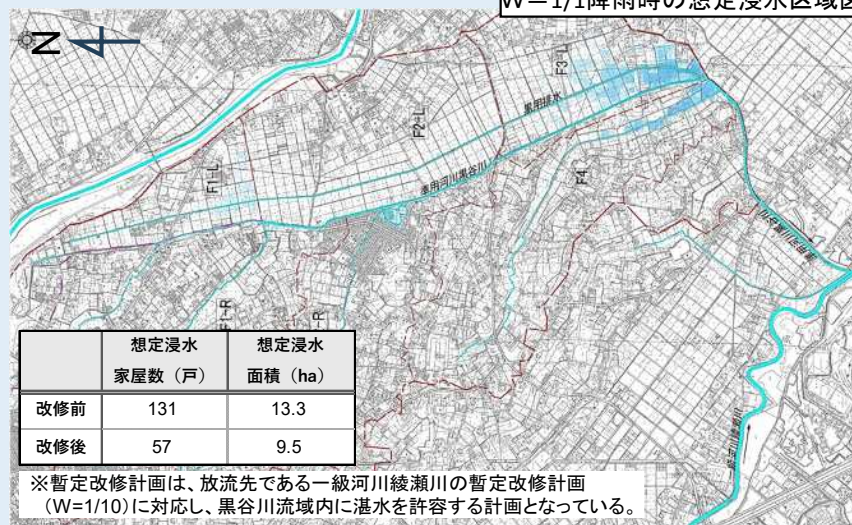
【事業内容】 河道掘削、橋梁工事等

【全体事業費】 652百万円(交付対象事業費)

【事業進捗】 事業進捗率:0.9%(令和8年3月末見込)  
※整備済延長37m/指定延長3,890m

## 【改修前の氾濫解析結果】

W=1/1降雨時の想定浸水区域図



※準用河川黒谷川治水経済調査業務(H25.3)

## 【事業の費用対効果(B/C)】

総便益B (億円)	総費用C (億円)	費用便益比 B/C
47.03	32.15	1.46

※準用河川黒谷川治水経済調査業務(H25.3)